

足袋ゆけば

もっぴー 茂山宗彦の

女神とメガミも至高…海のめぐみは最高。そりゃそうさ!!!
だって神々が集まる「神津島」。



だから言ったやん、先月号でOFFは早くて。

【釣行初日】

もうとんだけ忙しいか。芸術の秋、ピークの真ん中ですから。そんな中、俺は「つぼん釣りの旅」の口ケ。伊豆・神津島周辺に釣行。サボったんぢやいませ、先代・千作の追善公演後、現地入りですから。



「なっ、でっかいお魚さんです！」

下田港で仮眠をとり午前2時出船。船酔い・二日酔い!?色々心配やっただけど、何の問題もなく船の中で、一番最初に関東ワラサ・関西メジロ(鯛の手前2キリが俺にキタア。続いてカンパチ3キロ&4キロを女神の贈り物として我が手に次々と抱く事が出来たんです。はい俺、竿頭その日の船中で一番釣った人。「剛徳丸」で検索してみても、写真の通りですから。



「今月はコレ!」
こんな綺麗な女性が今回の先生。釣れへんワケがない!

こうやってえ...

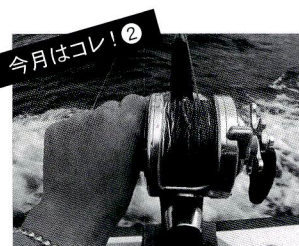


はい、干物をつくります

【釣行二日目】

いや、だからお仕事なんです。しかもダメ出しされたもん「釣り」ていつて(爆)

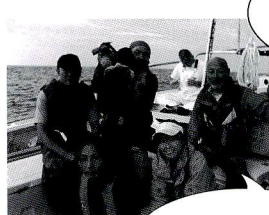
初日の釣行も無事終了。船宿にて他のお客さんと、その日の海の恵みを頂戴する。すると「おめえ、もっと待たねえ」とダメだよ「そっだよ!女と一緒なんだよ!ガッついたってダメなんだよ!」その日初めて出会った、おっさん達のありがたきお言葉。ほんと良い人達で、カンパチ釣り上げた瞬間なんて「オメエ、やっつたな!なっ、釣りおもしろくしろ!」「よう竿頭じゃねえかよ、おめでしろ!」という、皆で拍手してくれましたもん。釣りに悪人はおらんのです。
午前5時半、神津島出港。初日、メインの「カンパチ」をゲット、番組的にも映像ゲットしてことで他の釣り方で他の魚を狙うことに。こども女神が大ササ、イスガキダイ・シマアジ、次々と釣れるからすねえ。あんまり釣れるから船員の人なんて、船でさばいて「一夜干し」ってりました。
つてな事でケガもなく全員無事、下田帰港。大自然の力と魅力に大感激。いや、だからお仕事ちゃんとしたんです。釣り番組の口ケでちゃんと「釣り」ましたから、俺、絶対遊んでへんもん?



「今月はコレ!」
でっかいお魚釣るには、でっかいリールだ!

輝く「竿頭」の二文字。カン・ゲ・キ!

10/19(月)	神津	ワラサ	シマアジ
竿頭	左京区の茂山宗彦様		
10/12(日)	神津	カン	
竿頭	西東京市の山田様		
☆	バラシ有り。		



スタッフと児島玲子さん。有難うございました

二日目の釣果でクーラーボックス、マックスですわ



もっぴーに質問

Q 宗彦さんはジオニストですが、階級は何ですか?

A これまた、マニアックでキツイ質問ですねえ(笑)。士官学校は中退です。以前は佐官にて最前線にて指揮をとっていましたが、大隊の人事異動の為、「京都#5&★」の04小隊所属であり、ジオン公園士気向上機密委員会京都支部にて極秘任務遂行中で、現在階級は少尉。だから、マニアックでキツイ答えになったやん。分かる人は一緒にい〜。せーの! ジーク・ジオン!

※読者の皆様が発問に思ふこと、ささやかな要望などにもっぴーが真摯にお答えします。つきましては、どしどし質問をお寄せください。moppy@kyotocf.comまでメールにて。題名は「もっぴーへのラブレター」とご記入ください。

茂山宗彦

1975年6月4日生。O型。「酒、美女、自然」を三種の神器とし、釣り人としての時間を要す。出鱈目な英語とスラングな京都弁を駆使し、たまに世界を飛び回る狂言師。

